

2023-2024年度



国際ロータリー テーマ

世界に希望を生み出そう

第2690地区 スローガン

希望の種を播きましょう。育てましょう。

益田ロータリークラブ スローガン

希望は心の太陽である

**2024年5月10日〈金〉第1例会 第2986回**

例会場：益田商工会議所 2階会議室

事務局 TEL：080-2923-1616 FAX：23-7379 クラブ番号：14716

会員専用ページパスワード（英数半角）：masuda0078564085

I M記念ページパスワード（英数半角）：welcome20202021im

ロータリーの友電子版 ID：2690-00407

パスワード：00407-242

～～～プログラム～～～

12：30

◎開会の言葉

田上幹事

◎開会点鐘

田原会長

◎日本国国家「君が代」・ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

◎4つのテスト唱和

田上直前会長

◎ゲストスピーカー&ビジター紹介

田上幹事

本日はクラブ協議会のため、ゲストスピーカー&ビジターはありません。

◎5月慶祝報告 誕生祝い：増野会員，森本会員，田上会員，重親会員

ご結婚祝い：永島会員

◎食事案内《きりた》

安野SAA

以下午後の部

◎会長挨拶

田原会長

◎スマイル報告

安野SAA

◎幹事報告

田上幹事

1. 2024年5月のロータリーレートは\$1=¥157です。

2. 5月12日（日），クラブ活性化ワークショップが岡山市で開催されます。永島会長エレクト，増野次期幹事，森本会員増強委員長，田上公共イメージ委員長，村木ロータリー財団委員長が出席予定です（LC）。榊原ガバナーエレクト事務所から来た案内等は，会員専用ページ活動・例会（予定表兼実績表）2023-2024年度の5月10日及びレターケース2023-2024年度送受信文書の3月8日に掲載していますので，出席予定の方は目を通しておいて下さい。なお，交通手段は永島副会長手配の7人乗りエスティマ，当日午前8時に永島，増野，田上が県合同庁舎集合，8時05分頃に村木会員を益田東中学校入口で，8時15分頃に森本会員をご自宅で乗せて行く段取りです。

3. 5月17日5月第2例会は明誠高校インターアクト入会式を行います。会場は商工会議所2階ではなく，3階大会議室になります。この日は益田RC名物：佐々井智恵子・佐々井美穂会員によるカレーライスの予定です，この日は皆様12時20分頃からの食事の運搬にご協力下さい。なお，5月第12回理事会を開催しますので，理事の皆様はご出席をお願い致します。

4. 5月24日5月第3例会はクラブ活性化ワークショップの報告を行います。また，和原ガバナー補佐公式訪問例会となります。

5. 5月25日（土），第5グループ交流親睦ゴルフ会&懇親会が開催されます。森本会員と増野会員が参加予定です。

6. 6月1日(土)、ロータリー青少年指導者養成プログラム・RYLA セミナーが松江テルサで開催されます。参加資格があるのは、地区内のロータリークラブから推薦を受けた満30歳以下の社会人、学生、インターアクター、ローターアクター、米山奨学生及びロータリアン、青少年奉仕委員長です。参加希望の方はお申し出下さい。詳細についてはLCをご覧ください。
7. 6月21日6月第3例会は江木第5グループガバナー補佐訪問例会、クラブ・アッセンブリーの予定です。
8. 第1回クラブインターアクト委員長会議のご案内が榊原ガバナーエレクト事務所より来ています。開催日時は2024年7月7日13時～15時、場所は岡山交流センター5F会議室2(岡山市北区奉還町2-2-1)です。出席要請は青木会員又は廣兼会員に対して来ています。出席要請対象者が出席できない場合には代理出席してもらいたいとのことです。出席回答〆切りは6月7日金曜ですので、永島会員、青木会員、廣兼会員にて出席調整をお願い致します。なお、2024-2025年度インターアクト活動計画を6月14日までに提出されたいとのことです。事務局で明誠高校インターアクトクラブ顧問の先生と連絡を取り、早めの提出をお願いします。また、ガバナーエレクト事務所からの文書はレターケース2023-2024年度送受信文書の5月8日に掲載しています。
9. **次年度の榊原ガバナー公式訪問例会は、2024年7月10日、益田西RCとの合同夜間例会として同日18時から開催されます。皆様可能な限り万難を排してご参加下さい。**なお、この日17時～18時、ガバナーと会長幹事懇談会となります。
10. 6月15日にクラブ入会3年未満の新会員を対象とした研修セミナーが松江市のホテル一畑で開催されます。小田川会員が出席予定です。なお、ガバナー事務所からの文書は会員専用ページ活動・例会(予定表兼実績表)2023-2024年度の6月15日レターケース2023-2024年度送受信文書の4月12日に掲載しています。小田川会員は目を通しておいて下さい。
11. 田原会長より川崎ロータリークラブとの交流会のプランを配布します。

#### ◎委員会報告

##### クラブ管理運営委員会

| 会員数 | 出席  | 欠席 | 長欠 | HC出席率 | M U |
|-----|-----|----|----|-------|-----|
| 19名 | 15名 | 4名 | 0名 | 78.9% | 2名  |

本日のMY箸の使用率は 10/15 66.7パーセントでした。

## クラブ協議会

#### ◎閉会点鐘

13:30

田原会長

**MU** 4月27日: インターアクト地区協議会 青木会員  
4月27日: 浜田RC創立65周年記念例会 田上会員

創立S36年1月24日 **THE ROTARY CLUB OF MASUDA** 承認S36年3月16日

会長 田原裕司 副会長 永島一忠 幹事 田上尚志 副幹事 佐々井美穂 会計 重親政継 SAA: 安野光雄

## 2024年4月19日会長挨拶

別紙のとおり。

### 注意事項

- ① 例会にはできるだけマイ・箸をお持ち下さい。

### 欠席届出の方法について

- ① 予め例会に欠席することが分かっている場合には、火曜日までに事務局(サウンド・パレット)に連絡する。出席の場合は連絡を要しないものとする(出席連絡をしても構わない。)

2024年5月10日

川崎ロータリークラブ会員皆様

益田ロータリークラブ  
会長 田原 裕司

### 川崎RCと益田RCとの交流会について

新緑の候、川崎ロータリークラブの皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

先般、3月28日には川崎ロータリークラブ3506回例会におきまして、ビジターとして益田ロータリークラブの友好に向けたご挨拶のお時間を頂き誠にありがとうございました。

つきましては、川崎ロータリークラブ皆様に、益田市に来ていただける交流会を企画しました。

川崎ロータリークラブの皆様のご参加をよろしく申し上げます

### 記

#### 1 泊目

羽田空港 ANA 727 16時出発 萩石見空港 17時30分着

萩石見空港からジャンボタクシーで、ホテルへ。18時着

ホテル名 Mascos Hotel [MASCOS HOTEL - マスコスホテル益田温泉【公式】](#)

夕食 田吾作 18時30分から20時

[田吾作公式ホームページ | 島根県益田市 | 食事 | 和食 | ランチ | 居酒屋 | 刺身 \(tagosaku1966.jp\)](#)

#### 2 泊目

ホテル朝食 6時30分から10時

ホテル出発 10時

市内観光(日本遺産) れきしーな・医光寺・天岩勝神社・萬福寺

昼食 13時から14時 萬福寺 中世の食

雪舟記念館・中須東原遺跡・福王寺・櫛代賀神社

夕食 ゲストハウス&カフェハレテル 16時30分から17時30分

[TOP - 益田市のゲストハウス&カフェ「harétel \(ハレテル\)」 \(jimdofree.com\)](#)

萩石見空港 18時15分発 羽田空港 19時10分

以上

- ② 連絡方法は会員の多くが見られるLINEグループを推奨するが、LINEグループへの参加は自由であるし、LINEを好まない会員もいるので、連絡方法はFAX（サウンド・パレット：0856-23-7379、電子メール（アドレス：[rcmasuda@tx.miracle.ne.jp](mailto:rcmasuda@tx.miracle.ne.jp)）、電話（益田ロータリークラブ事務局専用携帯電話：080-2923-1616）など、特に制限は設けないこととする。
- ③ 事務局は、水曜日の最初の仕事として、例会欠席予定者をLINEグループで発表し、会員に確認を求める。但し、LINEグループ不参加者に対してはショートメール、電子メール、FAX、電話など適宜の方法を用いる。
- ④ 急用で欠席することもあるので、欠席する場合には火曜日を過ぎていても連絡する。火曜日までの連絡を失念していた場合も同様とする。

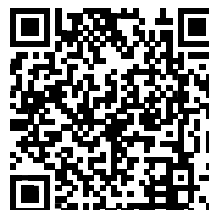
会員専用ページへのQRコードはこちら



会員専用ページレターケースへのQRコードはこちら



ウェブIM記念サイトへのQRコードはこちら





## ロータリーボイス

世界で行動する人びとの体験談とストーリー

「ロータリーボイス」とは、国際ロータリー（R I）のグローバルコミュニケーションズ部が独自に管理・運営するブログサイト。

「ロータリーボイス」の名が示す通り、多岐にわたるロータリアンの活動、その「声」を広く紹介していくことが大きな目的とされています。



## 自然から学ぶ人間のあり方

投稿日：1月 8, 2019 投稿者：Rotary International

寄稿者：ロレーナ・ロドリゲス（ロータリー平和フェロー、国際基督教大学）



田島さん（左から2人目）とロドリゲスさん（右端）

去る11月、私は栃木県に住む田島さんの農園を訪ねました。田島さんは、日本の農業家で思想家でもある福岡正信が提唱した「自然農法」を実践しています。福岡正信は、地球の存続と食料生産を両立させる道としての自然農法の確立に人生を捧げた人物です。

近代化により私たちは、より「洗練された」農法、すなわち、より早く作物を収穫し、より少ない肉体労働でより生産性の高い農法を追い求めてきました。



社会は「食料生産の産業化こそが、繁栄し効率のよい未来にいたる道」であると信じています。その結果、私たちは、種子事業の民営化、単作農業の拡大、動植物の遺伝子組み換え、森林破壊、重化学物質の使用といった現象を目にしてきました。

環境の持続可能性を重んじる自然農法の基本は、種を入れた「粘土団子」を撒くだけです。あとは除草も害虫駆除もせずに、作物の成長をすべて土壤に任せ、収穫を待ちます。土の中に住むあらゆる生物の共生を尊重することで、人と自然との分け隔てがないことを理解する。その方法が自然農法であることを、福岡正信が示したのでした。

### 自然のバランスへの回帰

田島さんの農園では、あらゆるものが自然のままに生きています。木の剪定もしなければ、植物への水やりもしません。野生植物や野菜で青々としている畑は、自然のバランスを見事に保っています。さまざまな色、動物、植物、そして土中の有機体が、調和の中で生きています。田島さんが万物の自然なバランスを信じているからこそ、これほど多様な作物を育てられるのでしょう。農作業をほとんどしなくても、自然が自ずとバランスを整えてくれるのです。

自然とは互いに関連するシステムであり、何ひとつとして、ほかのことと切り離すことはできません。一つのことだけを研究しても、それで本来の姿を知ることにはできません。例えば、クモだけを研究しても、稲に害を及ぼす特定のクモの影響を理解することはできません。どの分野の専門家でも、作物に対する害虫の影響を理解するには、昆虫、気候、土壌、植物の間にある複雑な関係を考慮しなければなりません。

これは社会のシステムにも当てはまります。人間は、あらゆる生き物で構成される有機的ネットワークの一部にすぎません。このネットワークでは、それぞれの生き物がいることで全体のバランスが保たれます。

### 命の大切さを理解する

農園を歩きながら、田島さんが種の話をしてくれました。田島さんは、交配種を播き、自然の力でそれらの種をきれいにしてもらおうのだそうです。交配種から育った作物が種をつけ、それをまた播くことで種を純化していく。そうすることで、田島さんは命の尊厳を重んじています。生きとし生けるすべてのものを、田島さんのような人たちが守っているのです。

田島さんの農場を訪れて本当に良かったと思います。そこで得た経験のおかげで、これまでに学んだ知識を捨て去り、二元的な世界観や効率と生産性のみを重視した見方を超えて考えることができるようになりました。自然と自分とのつながりを取り戻すことで、命というもの、そして自分自身をより良く理解することができるでしょう。